

都道府県名

宮城県

学校名及び規模

学校名	仙台市立広瀬中学校					
学年	1年	2年	3年	特殊学級	計	教員数
生徒数	7	7	7	3	24	42
学級数	249	255	241	11	756	

研究の概要

(1) 研究主題

生きる力を育むことをめざした学習指導の工夫

(2) 研究主題設定の趣旨

学習指導要領が示す「生きる力」について、本校では、「社会の変化に主体的に対応できる資質や能力」として捉え、そのためには、次の3つが必要であると考えている。

自らを律しつつ、他人と協調し、他人を思いやる心などの豊かな人間性。
たくましく生きるための健康や体力。
自ら課題を見付け、学び、考え、主体的に判断し、行動できるとともに、よりよく課題を解決できる資質や能力。

これらは、それぞれが独立したものではなく、相互に関連性を持つことで、「生きる力」の育成につながっていくものである。

また、「生きる力」を上記のように分析したが、これらは学校の教育活動全体を通して、生徒一人一人が身に付けていくものであり、学力向上を中心主題とする本研究を進めるにおいても、毎時間の授業における生徒の学習活動を通して身に付けさせたい資質や能力はすべて「生きる力」につながっていくものでなければならない。したがって、「生きる力」の3項目のうち、を主体とした研究を進めることが必要であると考え、「学力」を「基礎的・基本的な内容を確実に身に付けさせるとともに、自ら課題を見付け、学び、考え、判断することで、課題を解決していく力」と捉えた。

研究の概要

(1) 研究推進体制の工夫

本校では、研究推進企画会（教頭、教務主任、副教務主任、研究主任、副研究主任、学習指導部長で構成）において基本原案を検討し、研究推進委員会（研究推進企画会の構成メンバーと教科主任で構成）で再検討をした後、各教科を主体とする実践ができるような体制を組んできた。

(2) 研究の実際

今年度は、研究内容をより焦点化するとともに、具体的な学習指導法を追究することを目的として、次の項目を中心に実施した。

- ・全教科での取り組み。
- ・研究組織、研究体制の再検討。
- ・生徒の学力評価の比較検討を受けての研究組織、研究体制の再検討。
- ・「学力」の捉え方と授業のありかたに関する校内研修。
- ・各教科ごとの指導法の工夫と実践、および研究成果の検討と改善。
- ・校内授業研究と検討会の実施。
- ・仙台市教育センター指導主事訪問における研修。

(3) 研究の成果と課題

研究の成果については、現在、各教科ごとに集約しているところであるが、全体的な成果としては、単年度だけで考えることは難しい。むしろ、3年間の継続研究の上に、どのような成果があったのか捉えることの方が重要であると考えている。

特に、具体的かつ客観的な生徒の変容を捉えるのであれば、全国標準学力検査の結果なども待たなければならない。

今年度は、全教科における授業研究はもちろんのこと、毎時間の授業の中でも、本校における研究主題や学力の捉え方を意識し、指導法の工夫を行うことによって、生徒の実態に応じた単元内容の構成や学習課題の構造化、評価の工夫などに取り組みることができた。その結果、本校が捉える「学力」に少なからず迫ることができ、来年度へ向けての足掛かりとなったのではないかと思う。

また、次年度へ向けての課題としては次のことがあげられる

- ・ 普段の授業に生かすことのできる研究
今年度の取り組みを基に、次年度はこれまで以上に普段の授業を意識した研究方法を考えていく必要がある。(本研究の目指すところは、普段の授業において学力を向上させる指導法を見出すことであると考えられるから。)
- ・ 「学力」の追究
生徒の実態や地域性なども踏まえ、幅広い視点から独自性のある「学力」観を樹立する必要がある。
- ・ 評価の工夫と活用
適切かつ明確な到達目標と評価規準の設定、および学力向上のための活用法について検討が必要である。
- ・ 教育課程の見直し
学力向上のための具体的手段などを考慮に入れた上で、教育課程の再検討が必要である。

次年度は、これまでの成果を踏まえて研究内容をより焦点化し、教職員が一丸となって取り組んでいきたい

(4) 研究成果の普及の方策

- ・ 平成15年度
第2回仙台市教育センター指導主事訪問(11月10日)
近隣の小・中学校および仙台市内の学力向上フロンティア指定校を対象とした公開。(5教科)
栃木県南那須教育センター視察訪問(11月21日)
数学の授業公開と本校研究の概要を説明。
福島県いわき市好間・三和方部教頭会研修視察訪問(12月11日)
数学の授業公開と本校研究の概要を説明。
- ・ 平成16年度
3年間の研究成果を公開。(11月10日の予定)

(5) その他(その他特色ある取り組み等がある場合に記述)

次の項目ごとに、該当する箇所をチェックすること。(複数チェック可)

【新規校・継続校】 15年度からの新規校 14年度からの継続校

【学校規模】 3学級以下 4～6学級
 7～9学級 10～12学級
 13～15学級 16学級以上

【指導体制】 少人数指導 T・Tによる指導
 その他

【研究教科】 国語 社会 数学 理科
 外国語 音楽 美術 技術・家庭
 保健体育 その他

【指導方法の工夫改善に関わる加配の有無】 有 無